

とよたの桃 人工授粉始まる



豊田の夏を代表する果物で、生産量が県内有数である桃の授粉作業が、猿投地区（舞木町、乙部町、加納町）の桃畑で始まります。

今年の開花時期は平年より5日ほど早く、ピンクのじゅうたんを敷き詰めたような桃畑の中、生産者が丁寧に桃の花に花粉を付けていきます。

作業は、満開直前の風のない晴天の日に行われ、花粉のない「大和白桃」と花粉の少ない「川中島白桃」などの雌しべに、「白鳳」などから取った花粉を毛ばたきで付けていきます。この時期は桃の花の見頃でもあり、授粉作業と合わせて美しい風景を見ることができます。

桃の栽培農家【JAあいち豊田桃部会/部会長：森 清人（もり きよひと）】では、昨年11月の施肥に始まり、整枝、せん定、3月下旬の摘蕾（てきらい）、4月上旬の授粉、摘花、その後摘果、袋かけ等の作業をします。

出荷は早生種が6月下旬から始まり、7月の中心品種「白鳳」を経て、9月のゴールデンピーチまで続きます。



△桃農家が毛ばたきで丁寧に授粉します

令和2年JAあいち豊田桃部会

栽培面積：50.6ha

栽培農家（部会員）：47戸

出荷量（令和元年選果場出荷量）：453.9t

取 材 日

取材日時：4月3日（金） 午前8時45分 【雨天の場合は6日（月）予定】

集合場所：JAあいち豊田 選果場（豊田市四郷町森前187番地）

※取材圃場は別の場所です（舞木町）。JA職員がご案内いたします。

※集合場所が昨年と変わりました。

お問い合わせ先

JAあいち豊田 営農部 猿投営農センター 選果場（豊田市四郷町森前187番地）

TEL：(0565) 46-2217 FAX：(0565) 43-2031

担 当：岡本 竜一（当日連絡先 090-6582-1170）